

# 2025年10月～12月期中小企業景況調査結果

中小企業の景況感、緩やかな改善が続く

—業況判断、売上、採算の各D. I. 共に前期実績を上回る —

## ◇調査結果の概要

今期は、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。

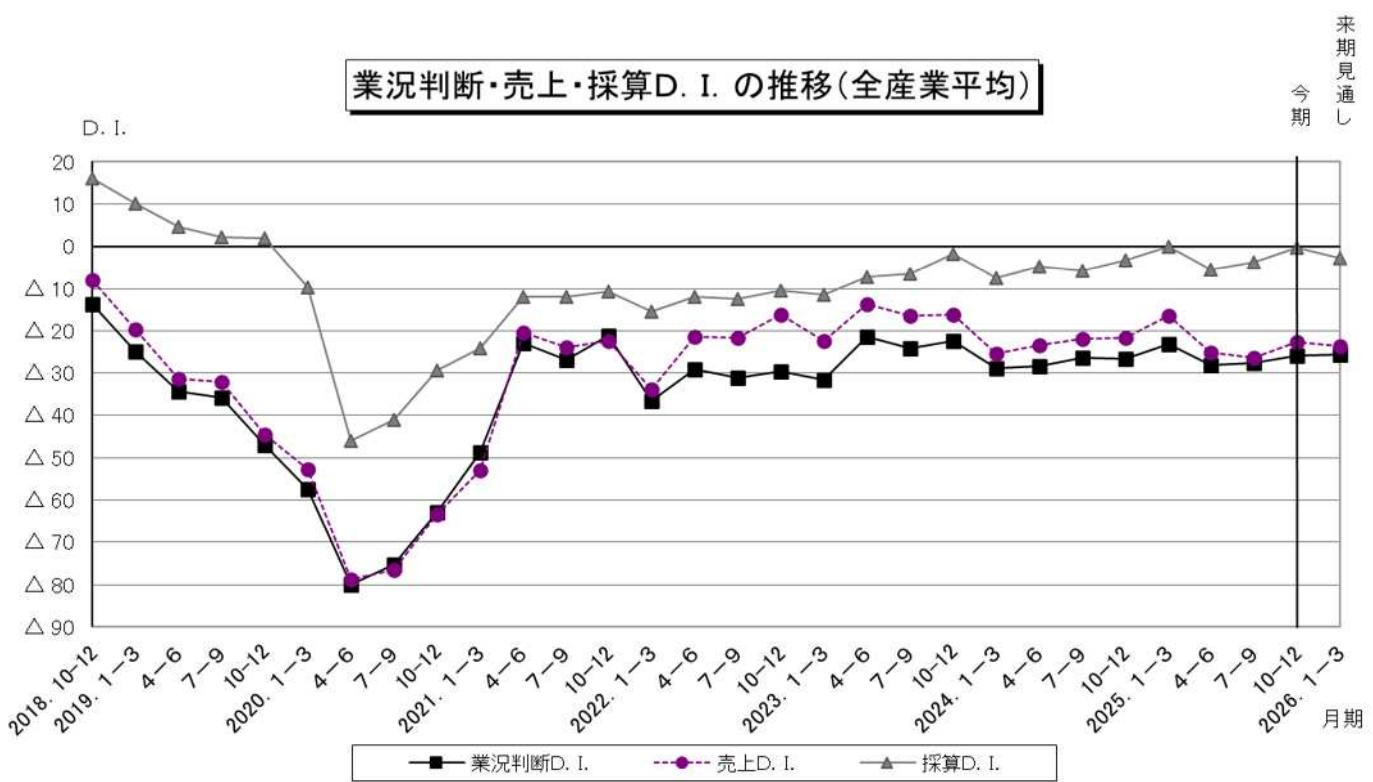
来期は、業況判断D. I. で前期実績を上回り、売上、採算の各D. I. で前期実績を下回る見通し（全産業平均）。

## 指標別の状況（全産業平均）

- 業況判断D. I. は、前期実績△27.7 から△25.9(1.8 ポイント増)となり、来期は△25.5(0.4 ポイント増)となる見通し。
- 売上D. I. は、前期実績△26.3 から△22.7(3.6 ポイント増)となり、来期は△23.6(0.9 ポイント減)となる見通し。
- 採算D. I. は、前期実績△3.8 から△0.3(3.5 ポイント増)となり、来期は△2.7(2.4 ポイント減)となる見通し。

## 産業別の状況

- 製造業では、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。
- 卸・小売業では、売上、採算の各D. I. で上回り、業況判断D. I. で前期実績を下回った。
- 建設業では、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。
- サービス業では、業況判断、売上の各D. I. で前期実績を上回り、採算D. I. で前期実績を下回った。



調査時期:2025年12月1日から12月10日まで

調査対象:中小企業2,000社(回答社数1,061社 回答率53.1%)

### 業況判断D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期(今期)	2026年1-3月期(来期)
全産業	△ 26.6 (△ 19.9)	△ 23.2 (△ 25.9)	△ 28.2 (△ 21.8)	△ 27.7 (△ 27.8)	↗ △ 25.9 (△ 27.5)	↗ △ 25.5
製造業	△ 27.6 (△ 18.8)	△ 20.3 (△ 23.7)	△ 26.1 (△ 19.8)	△ 26.9 (△ 25.9)	↗ △ 24.3 (△ 25.8)	↘ △ 25.2
卸・小売業	△ 35.3 (△ 27.7)	△ 33.8 (△ 34.5)	△ 39.5 (△ 31.3)	△ 39.1 (△ 36.8)	↘ △ 40.1 (△ 37.8)	↗ △ 32.4
建設業	△ 11.9 (△ 10.9)	△ 32.7 (△ 28.3)	△ 20.3 (△ 23.1)	△ 13.3 (△ 20.3)	↗ △ 12.3 (△ 20.0)	↘ △ 21.5
サービス業	△ 8.4 (△ 12.9)	△ 10.6 (△ 17.9)	△ 18.3 (△ 10.6)	△ 13.9 (△ 22.1)	↗ △ 9.7 (△ 17.8)	↘ △ 12.6

( ) 内は1期前における当期見通し

### 売上D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期(今期)	2026年1-3月期(来期)
全産業	△ 21.7 (△ 18.5)	△ 16.4 (△ 22.1)	△ 25.2 (△ 17.5)	△ 26.3 (△ 23.9)	↗ △ 22.7 (△ 23.2)	↘ △ 23.6
製造業	△ 23.6 (△ 18.0)	△ 14.2 (△ 21.7)	△ 25.3 (△ 16.9)	△ 26.3 (△ 22.9)	↗ △ 22.0 (△ 22.5)	↘ △ 23.6
卸・小売業	△ 24.1 (△ 26.6)	△ 23.8 (△ 24.7)	△ 30.3 (△ 22.6)	△ 33.3 (△ 30.7)	↗ △ 32.2 (△ 31.7)	↗ △ 29.6
建設業	△ 18.3 (△ 10.9)	△ 21.2 (△ 21.7)	△ 25.0 (△ 19.2)	△ 18.3 (△ 17.2)	↗ △ 10.8 (△ 18.3)	↘ △ 16.9
サービス業	△ 5.3 (△ 5.9)	△ 9.6 (△ 18.9)	△ 12.5 (△ 7.4)	△ 13.9 (△ 18.3)	↗ △ 10.7 (△ 9.9)	↘ △ 12.6

( ) 内は1期前における当期見通し

### 採算D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期(今期)	2026年1-3月期(来期)
全産業	△ 3.3 (△ 1.7)	△ 0.1 (△ 3.7)	△ 5.6 (0.0)	△ 3.8 (△ 5.6)	↗ △ 0.3 (△ 4.5)	↘ △ 2.7
製造業	△ 4.9 (△ 3.7)	0.2 (△ 5.4)	△ 6.7 (△ 0.7)	△ 3.9 (△ 8.5)	↗ 0.0 (△ 5.9)	↘ △ 4.7
卸・小売業	△ 10.3 (△ 10.9)	△ 6.1 (△ 8.1)	△ 8.4 (△ 5.2)	△ 9.2 (△ 6.9)	↗ △ 6.2 (△ 10.0)	↘ △ 7.0
建設業	23.7 (23.8)	15.4 (6.8)	15.6 (11.5)	△ 1.7 (18.8)	↗ 20.0 (8.3)	↘ 15.4
サービス業	6.3 (18.8)	4.3 (9.6)	△ 3.8 (10.8)	9.0 (2.0)	↘ 0.0 (11.1)	↗ 8.7

( ) 内は1期前における当期見通し

### 設備投資実施率の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期(今期)	2026年1-3月期(来期)
全産業	27.5% (25.2%)	26.0% (26.9%)	24.8% (27.4%)	25.1% (26.1%)	↗ 27.2% (26.2%)	↘ 25.5%
製造業	29.9% (29.8%)	28.1% (30.3%)	26.8% (30.1%)	28.3% (28.9%)	↗ 30.1% (30.3%)	↘ 28.9%
卸・小売業	21.1% (15.7%)	21.0% (17.9%)	16.9% (20.9%)	16.9% (18.4%)	↗ 19.9% (16.7%)	↘ 18.5%
建設業	30.5% (25.0%)	26.9% (25.0%)	31.3% (23.1%)	30.5% (26.6%)	↗ 30.8% (23.7%)	↘ 21.5%
サービス業	25.3% (18.6%)	24.5% (27.4%)	28.2% (28.3%)	21.8% (26.7%)	↗ 25.2% (23.5%)	↘ 24.5%

( ) 内は1期前における当期見通し

## 今期（2025年10月～12月期）の実績

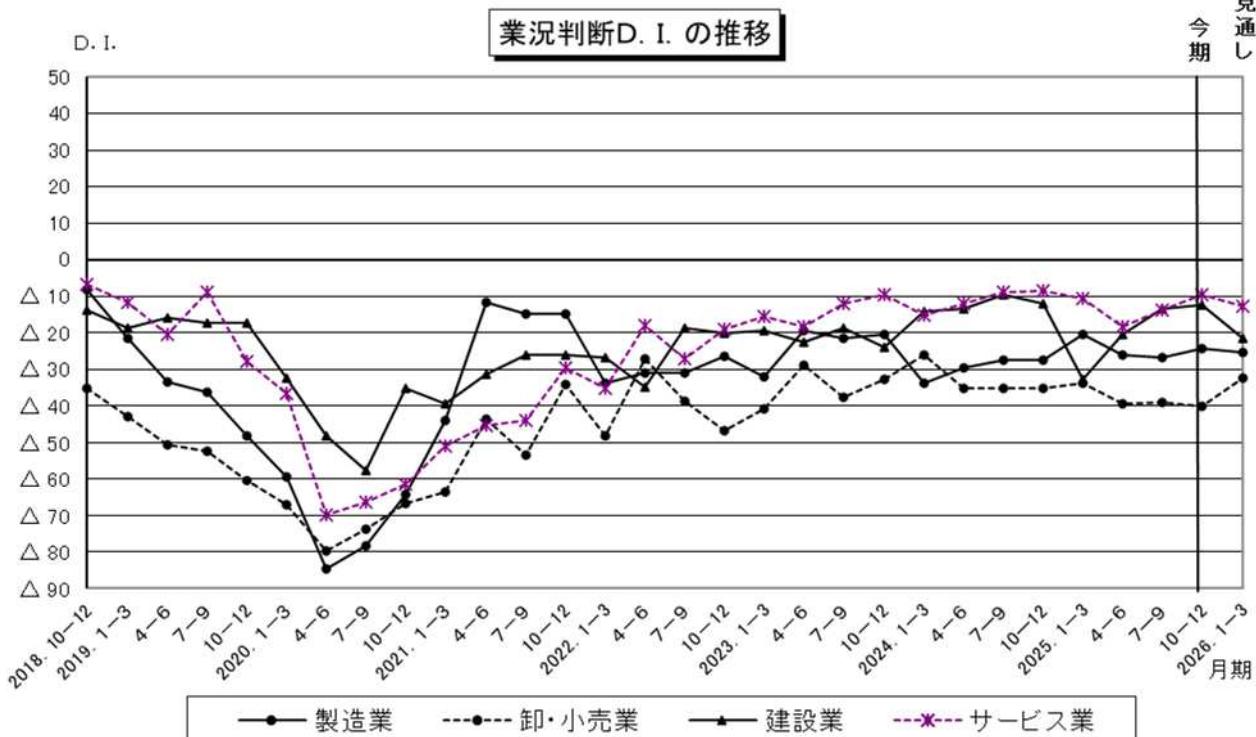
### 1 業況判断D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 26.6	△ 23.2	△ 28.2	△ 27.7	↗ △ 25.9	↗ △ 25.5
製造業	△ 27.6	△ 20.3	△ 26.1	△ 26.9	↗ △ 24.3 ↘	△ 25.2
食料品	△ 3.6	△ 22.4	8.3	△ 7.0	↗ 11.5 ↘	△ 3.8
繊維工業	△ 32.2	△ 33.3	△ 32.8	△ 37.7 ↘	△ 44.4 ↗	△ 33.3
木材・木製品	△ 44.4	△ 22.2	△ 28.6	△ 25.6 ↘	△ 33.3 ↗	△ 16.7
家具・装備品	△ 33.3	△ 27.3	△ 50.0	△ 27.3 ↘	△ 60.0 →	△ 60.0
紙・加工品	△ 40.6	△ 24.0	△ 35.3	△ 26.7 ↗	△ 13.8 ↘	△ 27.6
印刷	△ 42.3	△ 41.7	△ 47.8	△ 52.2 ↗	△ 46.2 ↗	△ 38.5
化学・ゴム	△ 17.4	△ 8.3	△ 13.6	△ 21.3 ↗	△ 14.3 →	△ 14.3
窯業・土石	△ 31.3	△ 24.4	△ 29.4	△ 26.0 ↘	△ 28.3 ↗	△ 26.1
鉄鋼・非鉄	△ 55.6	△ 40.0	△ 37.1	△ 56.8 ↗	△ 31.7 ↘	△ 41.5
金属製品	△ 28.3	△ 20.7	△ 37.8	△ 28.9 ↗	△ 23.7 ↘	△ 29.7
一般・精密機器	△ 18.2	0.0	△ 18.4	△ 19.2 ↘	△ 24.0 ↗	△ 22.0
電気機器	△ 24.2	△ 46.4	△ 36.6	△ 35.7 ↗	△ 35.0 ↗	△ 20.0
輸送機器	△ 21.4	2.7	△ 14.3	△ 11.7 ↘	△ 13.0 ↘	△ 20.3
卸・小売業	△ 35.3	△ 33.8	△ 39.5	△ 39.1 ↘	△ 40.1 ↗	△ 32.4
卸売業	△ 33.1	△ 33.6	△ 32.9	△ 38.5 ↗	△ 30.2 ↗	△ 23.5
小売業	△ 38.1	△ 34.0	△ 48.2	△ 40.0 ↘	△ 53.7 ↗	△ 44.9
建設業	△ 11.9	△ 32.7	△ 20.3	△ 13.3 ↗	△ 12.3 ↘	△ 21.5
建築業	△ 18.8	△ 37.9	△ 39.5	△ 22.2 ↗	△ 8.3 ↘	△ 22.2
土木業	△ 3.7	△ 26.1	7.7	0.0 ↘	△ 17.2 ↘	△ 20.7
サービス業	△ 8.4	△ 10.6	△ 18.3	△ 13.9 ↗	△ 9.7 ↘	△ 12.6
物品賃貸業	△ 16.2	△ 21.9	△ 23.8	△ 14.3 ↗	△ 10.8 ↗	△ 2.7
情報サービス業	△ 4.4	0.0	△ 15.4	△ 20.0 ↗	△ 13.0 ↘	△ 16.7
広告業	0.0	△ 21.4	△ 10.0	18.2 ↘	8.3 ↘	△ 25.0

※ 業況判断D. I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

来期見通し  
今期

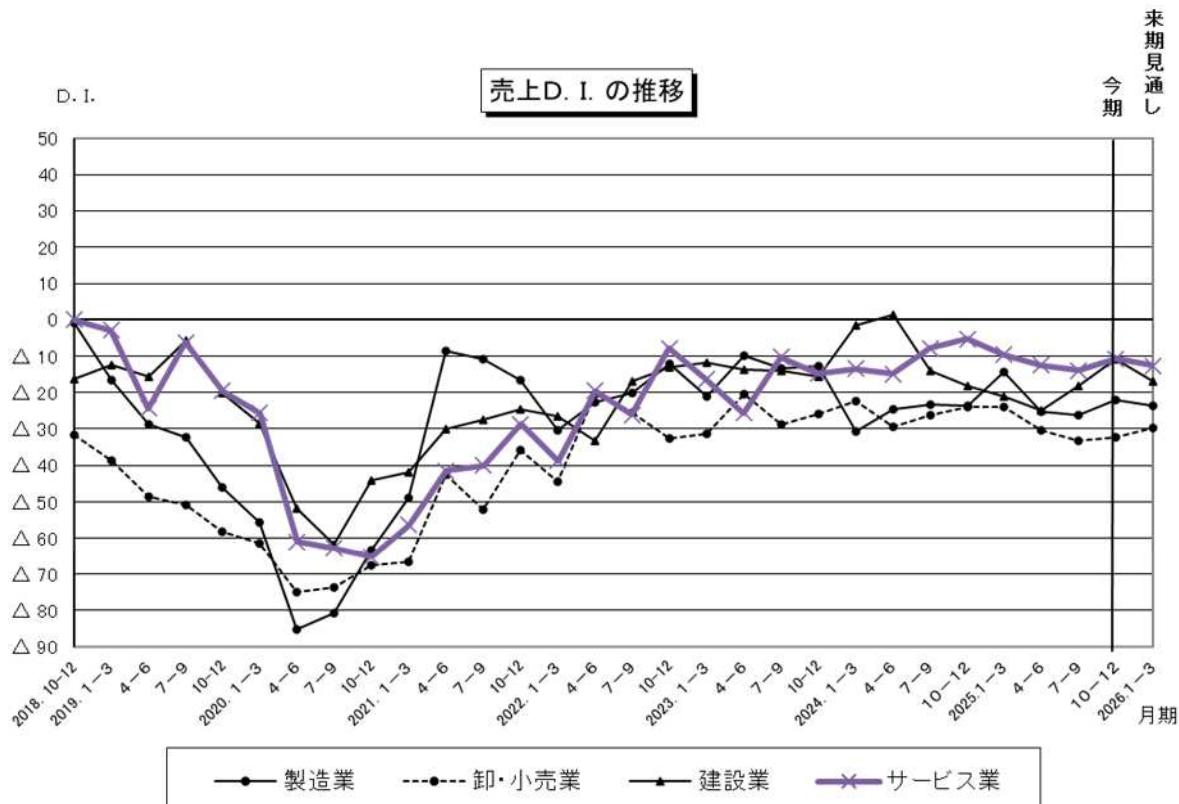


## 2 売上D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 21.7	△ 16.4	△ 25.2	△ 26.3	↗ △ 22.7	↘ △ 23.6
製造業	△ 23.6	△ 14.2	△ 25.3	△ 26.3	↗ △ 22.0	↘ △ 23.6
食料品	16.4	△ 6.9	8.3	△ 8.8	↗ 7.7	→ 7.7
繊維工業	△ 30.5	△ 31.6	△ 35.8	△ 39.1	↘ △ 41.3	↗ △ 36.5
木材・木製品	△ 50.0	△ 13.9	△ 28.6	△ 23.1	↘ △ 33.3	↗ △ 26.7
家具・装備品	△ 25.0	△ 45.5	△ 41.7	△ 27.3	↘ △ 60.0	→ △ 60.0
紙・加工品	△ 28.1	△ 24.0	△ 32.4	△ 23.3	↗ △ 6.9	↘ △ 10.3
印刷	△ 50.0	△ 37.5	△ 34.8	△ 52.2	↗ △ 42.3	→ △ 42.3
化学・ゴム	△ 6.5	4.1	△ 16.9	△ 12.8	↗ △ 7.1	↘ △ 12.5
窯業・土石	△ 29.2	△ 22.2	△ 25.5	△ 24.0	↗ △ 21.7	↘ △ 23.9
鉄鋼・非鉄	△ 48.1	△ 30.0	△ 37.1	△ 54.1	↗ △ 39.0	↘ △ 43.9
金属製品	△ 29.1	△ 12.4	△ 39.3	△ 30.5	↗ △ 23.7	↘ △ 28.0
一般・精密機器	△ 15.9	△ 4.4	△ 16.3	△ 17.3	↘ △ 28.0	↗ △ 20.0
電気機器	△ 21.9	△ 35.7	△ 29.3	△ 33.3	↗ △ 25.0	↗ △ 15.0
輸送機器	△ 17.1	6.7	△ 13.1	△ 14.3	↗ △ 5.8	↘ △ 21.7
卸・小売業	△ 24.1	△ 23.8	△ 30.3	△ 33.3	↗ △ 32.2	↗ △ 29.6
卸売業	△ 18.9	△ 20.9	△ 24.8	△ 30.4	↗ △ 22.0	↗ △ 20.7
小売業	△ 30.9	△ 27.8	△ 37.5	△ 37.6	↘ △ 46.3	↗ △ 42.1
建設業	△ 18.3	△ 21.2	△ 25.0	△ 18.3	↗ △ 10.8	↘ △ 16.9
建築業	△ 24.2	△ 31.0	△ 42.1	△ 30.6	↗ △ 13.9	→ △ 13.9
土木業	△ 11.1	△ 8.7	0.0	0.0	↘ △ 6.9	↘ △ 20.7
サービス業	△ 5.3	△ 9.6	△ 12.5	△ 13.9	↗ △ 10.7	↘ △ 12.6
物品賃貸業	△ 5.4	0.0	△ 9.5	△ 28.6	↗ △ 8.1	↗ △ 2.7
情報サービス業	△ 4.4	△ 10.4	△ 15.4	△ 10.9	↘ △ 14.8	↘ △ 16.7
広告業	△ 7.7	△ 28.6	△ 10.0	18.2	↘ 0.0	↘ △ 25.0

※ 売上D. I. は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

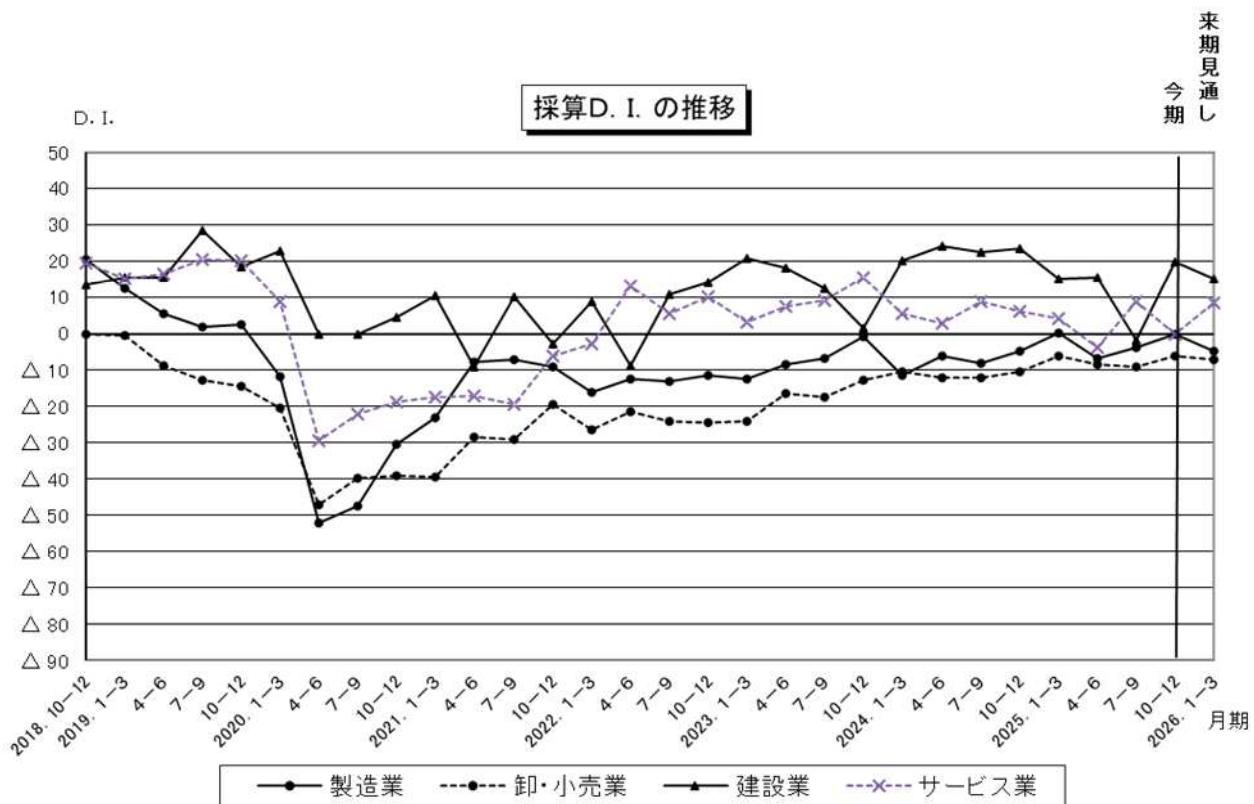


### 3 採算D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 3.3	△ 0.1	△ 5.6	△ 3.8	△ 0.3	△ 2.7
製造業	△ 4.9	0.2	△ 6.7	△ 3.9	0.0	△ 4.7
食料品	7.3	1.7	21.3	17.5	25.0	3.8
繊維工業	△ 13.6	△ 21.1	△ 22.4	△ 14.3	△ 32.3	△ 20.6
木材・木製品	△ 22.2	△ 2.8	0.0	0.0	6.7	△ 10.0
家具・装備品	△ 41.7	9.1	△ 16.7	△ 45.5	△ 33.3	△ 26.7
紙・加工品	3.1	4.0	△ 5.9	10.0	10.3	△ 10.3
印刷	△ 26.9	△ 33.3	△ 21.7	△ 26.1	△ 42.3	△ 23.1
化学・ゴム	17.8	16.3	8.5	10.6	8.9	5.4
窯業・土石	△ 22.9	△ 8.9	0.0	△ 8.0	2.2	△ 4.3
鉄鋼・非鉄	△ 7.4	0.0	△ 5.7	△ 24.3	2.4	△ 9.8
金属製品	△ 12.8	0.0	△ 17.8	△ 12.6	△ 2.5	△ 11.0
一般・精密機器	25.0	4.5	△ 18.4	△ 13.5	△ 4.0	4.0
電気機器	0.0	△ 3.6	△ 24.4	△ 9.5	△ 5.0	△ 2.6
輸送機器	4.3	18.7	6.0	22.1	26.1	17.4
卸・小売業	△ 10.3	△ 6.1	△ 8.4	△ 9.2	△ 6.2	△ 7.0
卸売業	7.1	5.2	2.7	1.4	11.3	8.7
小売業	△ 33.0	△ 21.6	△ 23.2	△ 24.8	△ 30.6	△ 29.0
建設業	23.7	15.4	15.6	△ 1.7	20.0	△ 15.4
建築業	3.1	10.3	2.6	△ 11.1	19.4	13.9
土木業	48.1	21.7	34.6	12.5	20.7	17.2
サービス業	6.3	4.3	△ 3.8	9.0	0.0	8.7
物品販賣業	13.5	18.8	△ 4.8	2.9	18.9	27.0
情報サービス業	6.7	△ 2.1	△ 3.8	10.9	△ 17.0	1.9
広告業	△ 15.4	△ 7.1	0.0	20.0	18.2	△ 16.7

※ 採算D. I. は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

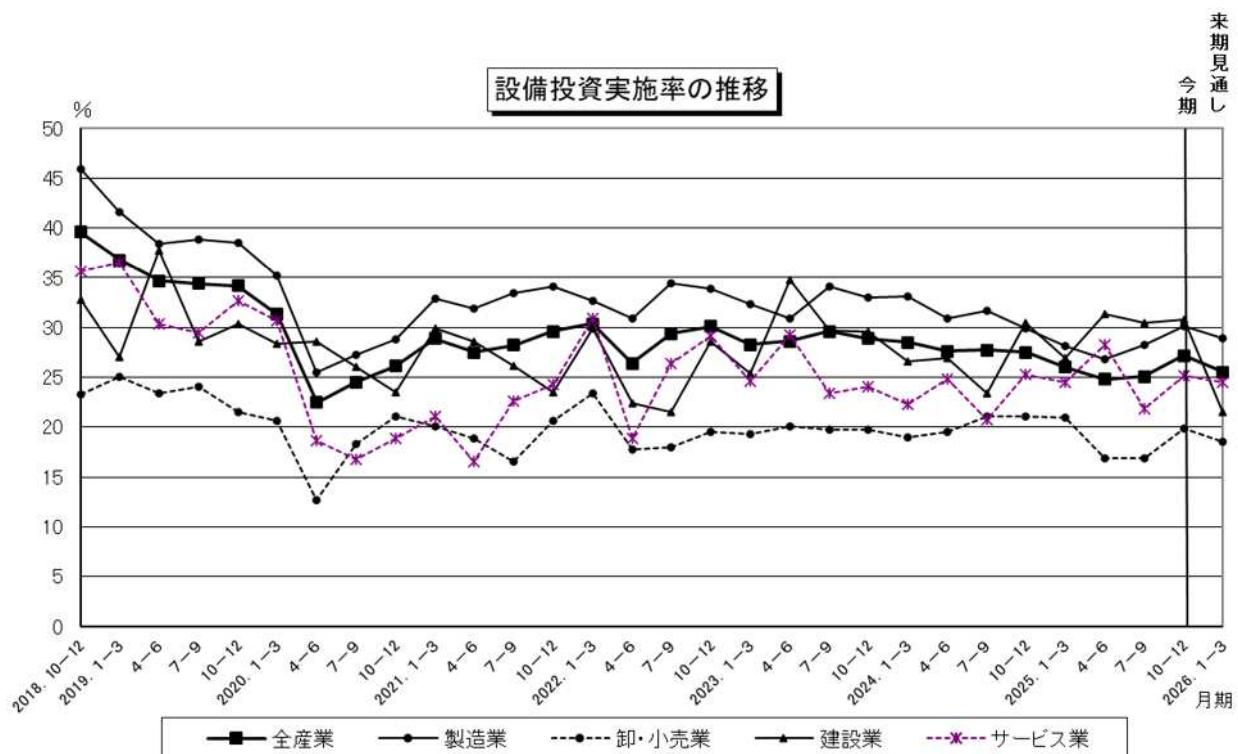


#### 4 設備投資実施率

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	27.5	26.0	24.8	25.1	27.2	25.5
製造業	29.9	28.1	26.8	28.3	30.1	28.9
食料品	47.3	36.2	44.3	38.6	44.2	36.5
繊維工業	15.3	19.3	13.4	23.2	19.0	15.9
木材・木製品	5.7	5.6	11.4	15.8	23.3	16.7
家具・装備品	33.3	45.5	25.0	54.5	20.0	26.7
紙・加工品	34.4	28.0	32.4	40.0	28.6	37.9
印刷	19.2	20.8	17.4	8.7	19.2	23.1
化学・ゴム	32.6	32.7	32.2	36.2	32.1	26.8
窯業・土石	35.4	29.5	31.4	34.0	37.0	30.4
鉄鋼・非鉄	37.0	30.0	20.0	27.0	36.6	39.0
金属製品	27.8	27.5	26.9	22.7	25.4	28.0
一般・精密機器	29.5	13.6	18.4	21.2	16.0	16.3
電気機器	18.2	10.7	12.8	14.3	22.5	20.0
輸送機器	42.9	50.7	39.3	42.9	52.2	49.3
卸・小売業	21.1	21.0	16.9	16.9	19.9	18.5
卸売業	21.3	19.4	16.1	17.6	22.3	19.6
小売業	20.8	23.2	17.9	15.8	16.7	17.0
建設業	30.5	26.9	31.3	30.5	30.8	21.5
建築業	18.8	13.8	13.2	22.9	25.0	13.9
土木業	44.4	43.5	57.7	41.7	37.9	31.0
サービス業	25.3	24.5	28.2	21.8	25.2	24.5
物品販賣業	18.9	25.0	26.2	20.0	27.0	32.4
情報サービス業	28.9	27.1	32.7	23.6	27.8	22.2
広告業	30.8	14.3	11.1	18.2	8.3	9.1

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

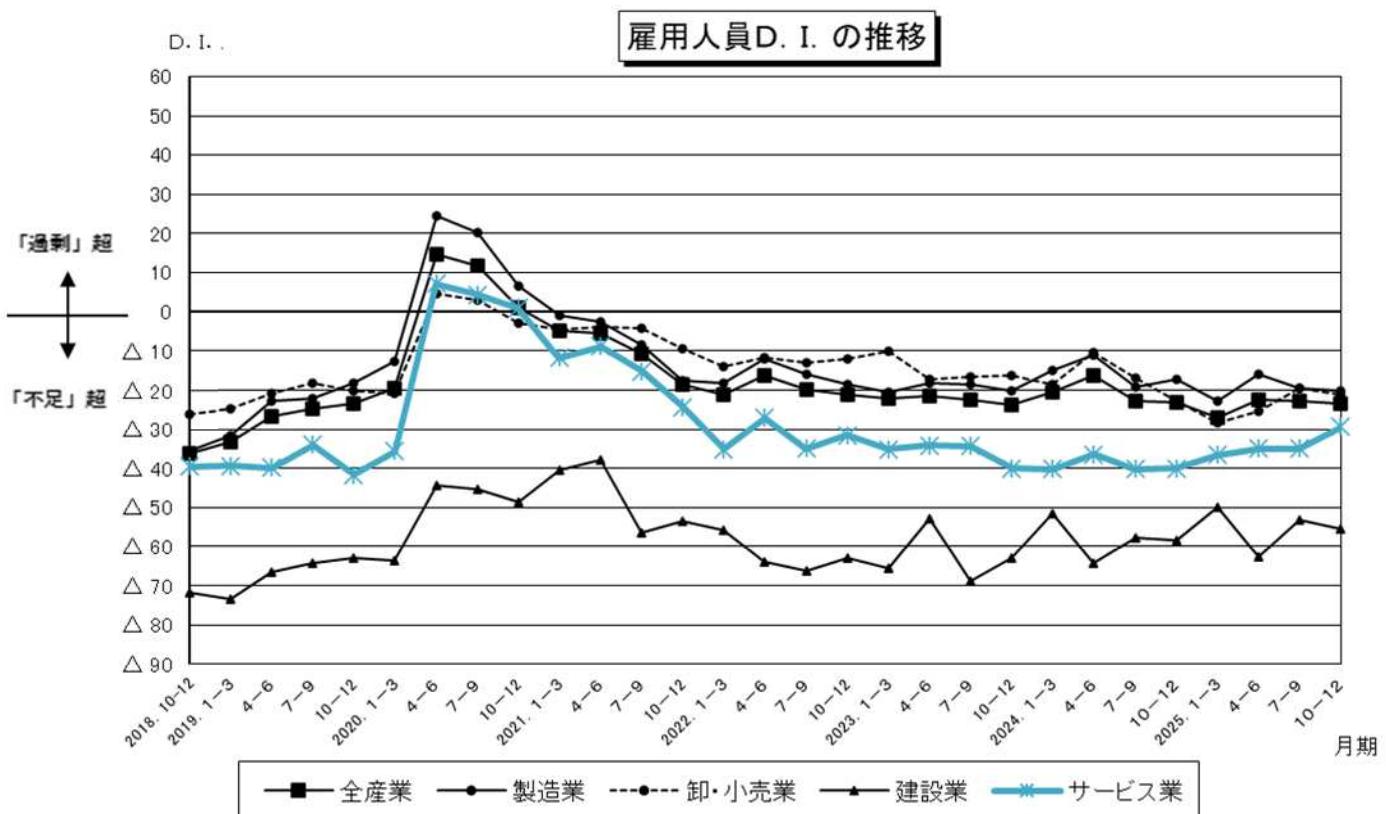


## 5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)	2026年1-3月期 (来期)
	全産業	△20.4	△19.3	△19.8	△20.2	△17.1	△20.3
	製造業	△19.2	△15.6	△17.3	△19.2	△14.5	△20.1
	卸・小売業	△26.8	△27.3	△27.2	△25.3	△23.3	△25.3
	建設業	△18.3	△26.9	△15.6	△16.7	△13.8	△16.9
	サービス業	△13.8	△19.1	△20.2	△16.8	△19.4	△11.7

## 6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	全産業	△23.1	△26.9	△22.6	△22.9	△23.6
	製造業	△17.2	△22.9	△15.9	△19.7	△20.3
	卸・小売業	△22.9	△28.3	△25.5	△19.4	△21.3
	建設業	△58.3	△50.0	△62.5	△53.3	△55.4
	サービス業	△40.0	△36.6	△35.0	△35.0	△29.4



## 7 金融機関の貸出態度 D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	全産業	0.7	△ 1.0	△ 1.4	△ 2.2	△ 2.0
	製造業	0.5	0.7	△ 1.4	△ 2.3	△ 0.2
	卸・小売業	△ 2.4	△ 5.4	△ 4.0	△ 5.1	△ 7.3
	建設業	11.7	11.5	7.8	10.0	6.3
	サービス業	2.4	△ 8.2	△ 1.0	△ 2.1	△ 5.1

## 8 価格の動向

### (1) 販売価格 D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	25.3	27.2	27.1	23.8	20.5
	卸・小売業	42.6	49.4	44.4	41.8	36.0
	サービス業	3.2	4.3	△ 7.8	△ 5.0	△ 9.9

### (2) 仕入価格等 D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
主要原材料 価格 D. I.	製造業	71.6	71.7	69.8	66.0	65.8
仕入価格 D. I.	卸・小売業	81.2	86.1	75.1	81.9	76.2
主要資材 価格 D. I.	建設業	81.7	78.8	81.3	75.0	84.4

## 9 設備稼動状況 D. I.

設備稼動 状況 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	△ 23.7	△ 18.4	△ 20.4	△ 20.1	△ 20.8

## 10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」-「減少」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	サービス業	△ 12.5	△ 11.8	△ 17.6	△ 13.0	△ 8.8

## 11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	10.1	7.2	6.6	7.5	5.6
	卸・小売業	9.4	9.1	8.8	11.6	4.3

## 12 経営上の問題点

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| <b>【製造業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の不振</li> <li>・原材料高</li> <li>・金融費用の増加</li> <li>・資金繩り難</li> <li>・人手不足</li> <li>・人件費の増加</li> <li>・製品安・値下げの要請</li> <li>・エネルギー費用の増加</li> <li>・その他</li> </ul> | <b>【卸・小売業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の不振</li> <li>・仕入価格の上昇</li> <li>・金融費用の増加</li> <li>・資金繩り難</li> <li>・人手不足</li> <li>・人件費の増加</li> <li>・大型店・新業態の小売店進出</li> <li>・店舗の狭小老朽化</li> <li>・その他</li> </ul> | <b>【建設業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注の不振</li> <li>・資材高</li> <li>・金融費用の増加</li> <li>・資金繩り難</li> <li>・人手不足</li> <li>・人件費の増加</li> <li>・受注単価引き下げ要請</li> <li>・その他</li> </ul> | <b>【サービス業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の不振</li> <li>・外注コスト増</li> <li>・金融費用の増加</li> <li>・資金繩り難</li> <li>・人手不足</li> <li>・人件費の増加</li> <li>・受注単価引き下げ要請</li> <li>・新規参入増</li> <li>・その他</li> </ul> |
|--|--|--|---|

業種	順位	2025年4-6月期(前々期)		2025年7-9月期(前期)		2025年10-12月期(今期)	
製造業	1位	<b>原材料高</b>	<b>50.4%</b>	<b>原材料高</b>	<b>43.0%</b>	<b>原材料高</b>	<b>41.5%</b>
	2位	売上の不振	43.1%	売上の不振	42.7%	売上の不振	40.4%
	3位	人件費の増加	38.7%	人件費の増加	36.1%	人件費の増加	33.4%
卸・小売業	1位	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>53.1%</b>	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>50.8%</b>	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>50.6%</b>
	2位	売上の不振	49.6%	売上の不振	48.8%	売上の不振	47.5%
	3位	人件費の増加	29.5%	人件費の増加	31.5%	人件費の増加	28.0%
建設業	1位	<b>資材高</b>	<b>60.9%</b>	<b>資材高</b>	<b>55.0%</b>	<b>人手不足</b>	<b>53.8%</b>
	2位	人手不足	48.4%	人手不足	46.7%	資材高	46.2%
	3位	受注の不振	34.4%	受注の不振	36.7%	受注の不振	29.2%
サービス業	1位	<b>売上の不振</b>	<b>44.4%</b>	<b>人件費の増加</b>	<b>43.3%</b>	<b>売上の不振</b>	<b>39.6%</b>
	2位	人件費の増加	40.4%	<b>人手不足</b>	<b>38.1%</b>	人件費の増加	36.6%
	3位	人手不足	34.3%	売上の不振	36.1%	人手不足	27.7%

※ 本調査は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

### 13 行政が今後強化すべき支援策

<調査方法> 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2025年4-6月期(前々期)		2025年7-9月期(前期)		2025年10-12月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	40.6%	金融支援	39.1%	金融支援	41.0%
	2位	雇用維持支援	39.9%	人材確保支援	37.4%	雇用維持支援	38.7%
	3位	人材確保支援	39.4%	雇用維持支援	35.3%	人材確保支援	35.3%
製造業	1位	雇用維持支援	41.2%	金融支援	35.8%	雇用維持支援	38.5%
	2位	人材確保支援	39.2%	雇用維持支援 人材確保支援	35.2% 35.2%	金融支援	34.8%
	3位	金融支援	37.0%	下請適正取引の推進	35.0%	下請適正取引の推進	34.4%
卸・小売業	1位	金融支援	54.9%	金融支援	48.5%	金融支援	58.4%
	2位	雇用維持支援	35.8%	人材確保支援	35.5%	雇用維持支援	33.1%
	3位	人材確保支援	33.7%	雇用維持支援	32.5%	人材確保支援	30.6%
建設業	1位	人材確保支援	54.7%	人材確保支援	60.3%	人材確保支援	60.9%
	2位	金融支援	40.6%	雇用維持支援	43.1%	雇用維持支援	53.1%
	3位	雇用維持支援	37.5%	金融支援	39.7%	金融支援	39.1%
サービス業	1位	人材確保支援	45.3%	人材確保支援	43.2%	雇用維持支援	44.4%
	2位	雇用維持支援	43.2%	金融支援 雇用維持支援	37.9% 37.9%	金融支援 人材確保支援	37.4% 37.4%
	3位	金融支援	29.5%	下請適正取引の推進	26.3%	下請適正取引の推進	25.3%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

## 【トピックス調査】

### ＜価格転嫁の状況＞

(1) 価格転嫁の状況についてお尋ねします。

業種	価格転嫁の状況					
	全くできっていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	16.7% (16.7%)	20.5% (22.5%)	24.2% (26.1%)	21.7% (21.3%)	10.6% (8.0%)	6.3% (5.4%)
製造業	16.5% (15.6%)	21.6% (25.7%)	27.7% (28.6%)	22.3% (20.2%)	7.6% (6.2%)	4.3% (3.7%)
卸・小売業	14.5% (12.9%)	18.1% (14.9%)	22.5% (29.5%)	23.7% (26.1%)	14.8% (9.5%)	6.4% (7.1%)
建設業	15.9% (22.0%)	15.9% (20.3%)	15.9% (11.9%)	28.6% (30.5%)	22.1% (13.6%)	1.6% (1.7%)
サービス業	24.0% (29.9%)	22.0% (21.6%)	12.0% (9.3%)	9.0% (10.3%)	12.0% (14.5%)	21.0% (14.4%)

※カッコ内は前回調査実施時点(2025年7月～9月期)

(2) 価格転嫁が進まない理由として最もあてはまるものは何ですか。

業種	価格転嫁が進まない理由					
	取引への悪影響を 恐れて価格交渉の 申し出が できなかった	取引先へ価格交渉 を申し出たが、交渉 自体に応じてもらえ なかつた	取引先と価格交渉 を行ったが、 満足のいく結果にな らなかつた	取引先との交渉 方法がわからない	消費者から 理解が得られ難い	その他
全産業	30.1%	9.4%	38.7%	2.3%	17.5%	2.0%
製造業	32.4%	10.5%	45.4%	1.3%	7.6%	2.8%
卸・小売業	15.7%	7.9%	24.7%	4.5%	47.2%	0.0%
建設業	36.4%	4.5%	31.8%	4.5%	18.2%	4.6%
サービス業	43.4%	8.7%	34.8%	2.2%	10.9%	0.0%

<テレワークの導入意向>  
1 テレワークの導入状況

業種	テレワーク導入状況					
	今回調査			前回(2024年10-12月期)調査		
	導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし	導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし
全産業	18.1%	3.3%	78.6%	17.5%	4.2%	78.3%
製造業	14.9%	2.4%	82.7%	14.6%	3.8%	81.6%
卸・小売業	17.7%	4.5%	77.8%	16.2%	4.4%	79.4%
建設業	13.6%	1.7%	84.7%	15.9%	7.9%	76.2%
サービス業	41.0%	7.0%	52.0%	36.2%	3.8%	60.0%

2 テレワークの導入予定が無い場合、その理由

業種	順位	テレワークの導入について、「予定なし」と回答した理由	
全産業	1位	対象業務が限定的	57.5%
	2位	適正な労務管理	18.9%
	3位	導入効果	17.3%
製造業	1位	対象業務が限定的	61.4%
	2位	適正な労務管理	18.8%
	3位	導入効果	14.9%
卸・小売業	1位	対象業務が限定的	47.7%
	2位	社員間のコミュニケーション	20.5%
	3位	適正な労務管理	18.9%
建設業	1位	対象業務が限定的	64.1%
	2位	導入効果	25.6%
	3位	適正な労務管理	23.1%
サービス業	1位	対象業務が限定的	46.8%
	2位	情報セキュリティの確保	36.2%
	3位	適正な労務管理	17.0%
		導入効果	
		導入・運用コスト	

<調査方法>以下の項目から3つまで選択。

- ・情報セキュリティの確保
- ・適正な人事評価
- ・導入効果
- ・社員間のコミュニケーション
- ・対象業務が限定的
- ・導入・運用コスト
- ・適正な労務管理
- ・テレワークに対応した労務管理
- ・その他

## [調査の概要]

- 1 調査時期 2025年12月1日から12月10日まで  
2 調査対象期間 実績 ----- 2025年10~12月期  
見通し ----- 2026年1~3月期

### 3 調査内容

○業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。

○採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

### 4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数（ディファージョン・インデックス）

業況判断D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

売上D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

採算D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。

設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。

資金繰りD. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

雇用人員D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

金融機関の貸出態度D. I. --- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。

販売価格D. I. ----- 前年同期と比べて販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況が「上昇」したとする企業の割合から、「低下」したとする企業の割合を差し引いた値。

顧客数D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

在庫水準D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により100%とならない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

### 5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

製造業・建設業 -- 資本金3億円以下又は従業員300人以下

卸売業 ----- 資本金1億円以下又は従業員100人以下

小売業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員50人以下

サービス業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員100人以下

### 6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,061社	635社	258社	65社	103社
回答率	53.1%	51.6%	54.9%	65.0%	51.5%
(前回)	53.7%	53.9%	53.0%	60.0%	50.5%

本資料は、産業政策課のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。